

日本鋼管病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。 研究課題名（研究番号）	日本人炎症性腸疾患患者におけるCOVID-19 感染者の他施設共同レジストリ研究 (研究番号：202110)
当院の研究責任者（所属）	瀧上 綾子（消化器肝臓病センター）
他の研究機関および各施設の研究責任者	研究代表者：札幌医科大学 医学部 内科学講座 仲瀬 裕志 ほか
本研究の目的	COVID19に感染した日本人炎症性腸疾患患者さんの情報を集めて、炎症性腸疾患患者さんにおけるCOVID19 感染率ならびにCOVID19が患者さんの症状に及ぼす影響を明らかにします。このことは、COVID19の発症予防やCOVID19感染時の炎症性腸疾患の治療内容の適切化につながります
調査データ 該当期間	2020年1月1日から2023年12月31日までにCOVID19感染を認めた患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さま 上記期間内に、日本鋼管病院に通院もしくは入院中の炎症性腸疾患患者さま（潰瘍性大腸炎、クローン病、分類不能型腸炎、腸管ペーチェット病、単純性潰瘍）の中でCOVID19感染を認めた患者さま。なお、症状を伴わないもののCOVID19への感染を認めた「無症状病原体保有者」も対象とします。 ●利用する情報 カルテの診療録、検査データ（採血、CT、内視鏡検査所見など）
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	この研究に使用する情報は当院から研究代表施設である札幌医科大学へ提供いたします。研究責任者は得られた情報を十分にセキュリティ対策がなされた専用サーバー上に入力し提供します。もしくは、得られた情報をエクセルファイルの「症例報告書」に入力し、札幌医科大学附属消化器内科学講座の担当者にパスワードでロックされ匿名化された「症例報告書」を電子メールで提供します。
個人情報の取り扱い 本研究の資金源 (利益相反)	氏名、生年月日など患者さんが特定できる情報は削除して、個人が特定できない状態で提供いたします。具有結果は学術雑誌や学会などで公表しますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。 本研究は厚生労働省研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」の公的研究費でまかなわれます。そのほか本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	電話：044-333-5591 責任者：瀧上 綾子

備考	<p>研究に同意しないこと又は同意を撤回することによって不利益な取扱いを受けることはありません。</p> <p>個人の情報として今までの検査結果を開示することは可能です。請求人は原則的に協力者本人とし、本人以外からの請求の場合本人直筆の委任状が必要になります。開示を希望する場合、上記の問合せ先までご連絡ください。</p>
-----------	---